

令和4年度 9月補正の主な内容（一般会計）

現計予算額	43,365,810千円
補正予算額	490,688千円
補正後予算額	43,856,498千円

消費税転嫁対策特別措置法に基づく消費税転嫁相当額の支払い 6,629千円 【議案書:P.26 担当課:財政課】

消費税転嫁対策特別措置法に基づき、消費税転嫁相当額を支払う。

■補正予算 6,629千円（補償費）

熊野の未来を拓く、ひとづくりプロジェクト事業 16,859千円 【議案書:P.26 担当課:たなべ営業室】

内閣府により、本市が「令和4年度SDGs未来都市」に、また本市の取組が「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことから、国の地方創生支援事業費補助金の採択を受け、本市の取組の情報発信や関係人口間の交流促進、新たな関係人口の創出を図るための各種事業を実施する。

■SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の概要

我が国のSDGsモデルの構築に向け、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」に選定するとともに、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」に選定し、補助金による支援を行う。

■自治体SDGsモデル事業に選定された本市の取組

項目	事業概要
たなべ未来創造塾	交流人口の増加と地域経済の活性化を目指し、地域課題の解決と地域資源の活用をビジネスの視点で考える人材の育成とビジネスモデルの創出（H28～）
首都圏プロモーション	雑誌「ソトコト」を通じた情報発信と首都圏における関係人口養成講座「たなコトアカデミー」の開催（H30～）
熊野リボンプロジェクト	地域の暮らしや文化に関心の高い低山トラベラーをターゲットとした連続講座の開催（R2～）
ことらぼ	JMAM（日本能率協会マネジメントセンター）が主催する首都圏企業の次世代リーダー育成プログラム「ことらぼ」において、国内大手企業の社員とたなべ未来創造塾修了生が協働し、地域課題を解決するビジネスプランの立案・成果発表を行うなど、業種・職種を超えた協働プロジェクトを展開（R1～）

（次ページへ）

■事業概要

項目	事業内容	事業費
田辺SDGs実践集の制作	たなべ未来創造塾から生まれたSDGs実践事例を中心とし、たなコトアカデミーや熊野リポーンプロジェクト、ことらぼ修了生などの関係人口との共創で生まれたSDGs事例などを紹介する。	7,978千円
雑誌媒体等での田辺SDGs事例の紹介	雑誌等の媒体（ソトコト、ソトコトオンライン）を通じて、田辺のSDGs事例を紹介する。	1,870千円
普及啓発イベントの開催	たなべ未来創造塾修了生や、たなコトアカデミー、熊野リポーンプロジェクト、ことらぼ修了生等が一堂に会するイベントを開催する。	4,861千円
関係人口ネットワークサイトの開設	たなべ未来創造塾やたなコトアカデミー、熊野リポーンプロジェクト、ことらぼなど、本市における地方創生や関係人口の創出に係る取組を統合したWEBサイトを開設する。	1,650千円
SNSを活用した関係人口ネットワークの形成	たなべ未来創造塾修了生など地域住民と、関係人口をつなぐSNSコミュニティを形成し、たなべ未来創造塾修了生や関係人口が取り組んでいるプロジェクトのタイムリーな情報を発信する。	500千円
合 計		16,859千円

■補正予算 16,859千円（シティープロモーション業務委託料 13,951千円ほか）

地域振興基金積立金 1,000千円 【議案書:P.26 担当課:企画広報課（歳入:農業振興課）】

農業振興を目的とした寄付金を頂いたことから、今後の農業振興事業に活用するため、地域振興基金に積み立てる。

■補正予算 1,000千円

軽自動車税システムの改修 1,800千円 【議案書:P.27 担当課:税務課】

軽自動車のナンバープレートにローマ字表記を含むものが県内で発行される見込みであることから、軽自動車税の課税に対応するための改修を行う。

■補正予算 1,800千円

戸籍情報システムの改修 13,000千円 【議案書:P.27 担当課:市民課】

データ連携による戸籍事務の効率化・利便性の向上を図るとともに、戸籍事務にマイナンバー制度を導入するため、戸籍情報システムの改修を行う。

■マイナンバー制度導入による運用内容（R5年度末、運用開始予定）

①戸籍証明書等の広域交付

本籍地の市区町村以外でも戸籍情報を参照できるようになるため、本籍地の市区町村以外でも戸籍証明書等の請求が可能となる。

②行政手続きにおける戸籍証明書等の添付省略

戸籍の届出における戸籍証明書等の添付が不要となる。また、他の行政手続きにおいても、マイナンバーに対応する情報提供用個人識別符号を用い、戸籍関係情報（親子関係など）を参照することで、申請時に戸籍証明書等の添付が不要となる。

■補正予算 13,000千円

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策 8,900千円 【議案書:P.28 担当課:子育て推進課】

保育所等において継続的なサービスを提供するため、感染防止用物品等を購入するとともに、民間の保育施設が行う感染症対策に対して補助を行う。

■補正予算 8,900千円（1施設当たり定員数に応じて 上限300～500千円、病児保育施設は1施設当たり上限300千円）

■予算内訳 ○保育所費 2,200千円

公立保育所、公立へき地保育所における感染防止用物品等（消毒液、マスク、空気清浄機、サーキュレーター等）の購入

○児童福祉費 6,700千円

民間の認可保育所、認定こども園、認可外保育所、学童保育所、病児保育施設が行う感染症対策に対する補助金

新型コロナワクチン接種事業 126,000千円 【議案書:P.29 担当課:健康増進課】

新型コロナワクチンの接種体制を確保し、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施するため、予算を増額する。

■対象者 初回接種を完了している市民 53,500人

■接種期間 R4年10月中旬～R5年3月31日（予定）

■接種間隔 現在、国が詳細を検討中

■接種券 9月下旬から10月上旬にかけて、接種券及び予約案内を発送（予定）

■接種方法 個別接種 … 医療機関

集団接種 … 市民総合センター、行政局等 計55日を想定

■補正予算 126,000千円（補正前 218,000千円・補正後 344,000千円）

塵芥処理費の増額 72,010千円 【議案書:P.29～30 担当課:廃棄物処理課】

原油価格の高騰などに伴い光熱水費や燃料費等が不足するとともに、追加の施設修繕及び車両更新が必要となったことから、予算を増額する。

項目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額
ごみ分別指定袋作成費用	26,175千円	14,000千円	40,175千円
焼却施設等の光熱水費	50,963千円	24,000千円	74,963千円
焼却施設の燃料費	13,500千円	2,000千円	15,500千円
ごみ収集に係る車両燃料費	5,500千円	1,000千円	6,500千円
焼却施設の修繕料	120,000千円	22,000千円	142,000千円
清掃用車両更新費用	20,909千円	9,010千円	29,919千円
合計	237,047千円	72,010千円	309,057千円

高性能林業機械導入支援補助金 8,459千円 【議案書:P.30 担当課:山村林業課】

森林施業の効率化及び生産性の向上を推進し、労働力の軽減及び安全性の向上を図るため、高性能林業機械を導入する林業事業者に対して補助を行う。

- 対象経費 県補助金交付要綱に規定する高性能林業機械（プロセッサヘッド）の購入費、機械機器の取付経費
- 補助率 1/3以内（補助金上限 3,100千円）
- 補正予算 8,459千円

県営急傾斜地崩壊対策事業・小規模土砂災害対策事業 11,025千円 【議案書:P.31（箇所一覧表:P.39）担当課:土木課】

県が実施する急傾斜地崩壊対策事業及び小規模土砂災害対策事業に対する負担金を計上する。

種別	事業費	負担率	市負担金
急傾斜地崩壊対策事業（6件）	157,500千円	2.5%～10.0%	7,875千円
小規模土砂災害対策事業（7件）	31,500千円	10.0%	3,150千円
計（13件）	189,000千円	—	11,025千円

文里湾横断道路街路事業 83,333千円 【議案書:P.32 担当課:都市計画課】

文里湾横断道路街路事業に係る県の補正予算が追加措置されることに伴い、県営事業負担金を増額する。

	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	補正理由
県営事業負担金 (県事業費の1/6)	55,000千円	83,333千円	138,333千円	詳細設計や測量・家屋調査等の進捗により、県が補償費、工事費等を増額することに伴うもの。

現年度耕地災害復旧事業 609千円 【議案書:P.33 (工事明細表:P.38) 担当課:農業振興課】

- R4年5月13日～14日の豪雨による災害
対象施設 農地1か所(大塔)
補正予算 609千円(工事請負費600千円、事務費9千円)

過年度公共土木災害復旧事業 8,200千円 【議案書:P.34 担当課:土木課】

市道長野22号線の地すべり災害復旧工事の施工計画を一部変更するため、測量・調査・設計委託料を計上する。

- 補正予算 8,200千円

現年度公共土木災害復旧事業 86,880千円 【議案書:P.34 (工事明細表:P.38) 担当課:土木課】

- R4年8月12～14日の豪雨による災害
対象施設 市道2か所(中辺路1か所、本宮1か所)
補正予算 86,880千円(測量・調査・設計委託料9,500千円、工事請負費76,500千円、事務費880千円)

令和4年度 9月補正の主な内容（特別会計）

国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 23,629千円 【議案書:P.45 担当課:保険課】

■ R3年度保険給付費等交付金（普通交付金及び特別交付金）精算に伴う返還金	20,629千円	現計予算額	9,876,380千円
■ 傷病手当金の増額	3,000千円	補正予算額	23,629千円
		補正後予算額	9,900,009千円

国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定) 3,332千円 【議案書:P.49 担当課:健康増進課】

■ 消費税転嫁対策特別措置法に基づく消費税転嫁相当額の支払い	2,413千円	現計予算額	24,438千円
■ 消費税転嫁対応に伴う出張診療委託料の増額	919千円	補正予算額	3,332千円
		補正後予算額	27,770千円

介護保険特別会計 70,955千円 【議案書:P.55 担当課:やすらぎ対策課】

■ 介護報酬の改定に伴う介護保険システムの改修	3,500千円	現計予算額	9,516,488千円
■ R3年度介護給付費負担金及び地域支援事業費交付金の精算等に伴う返還金	67,455千円	補正予算額	70,955千円
		補正後予算額	9,587,443千円

診療所事業特別会計 3,690千円 【議案書:P.60 担当課:健康増進課】

■ 消費税転嫁対策特別措置法に基づく消費税転嫁相当額の支払い	2,590千円	現計予算額	323,700千円
■ 会計年度任用職員の配置に伴う報酬等の増額	1,100千円	補正予算額	3,690千円
		補正後予算額	327,390千円